



 Rich More®

2019 S/S
(1-6)

- 使用織り機…オリヴィエ〈織美絵〉60

- ## ●使用糸

使用糸 〈リッチモア手あみ糸〉	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
シニョーリア	No.6	㊤ (マルチカラー)	1.2玉
	No.4	㊦ (ピンク系)	1.2玉
	No.3	㊧ (ブルー系)	1.2玉
フォセッタ	No.13	㊨ (青)	1.5玉

- 使用ヘドル…40羽（40本/10cm）

- 他に用意するもの…エコクラフト籐風丸持ち手（3～6ページ参照）、
接着テープ（幅1.5cm×106cm）

- ヨコ糸密度…24段/10cm

- 織り上がり寸法…長さ80cm、幅53cm

- ### ●作り方

- 1** タテ糸を配色どおり張る。

本体

タテ糸の本数…①76本、②72本、③72本（合計220本）

ヘドル通し幅…55cm

タテ糸の長さ…130cm

〈タテ糸配色〉



- 2ヨコ糸は④で織る。

〈ヨコ糸配色〉



表記の寸法は織り上がり寸法です。

織っている最中は、糸が引っ張られた状態です。

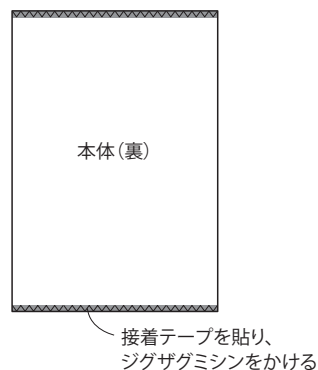
織り機からはずすと約10%織り地が縮みます。

織るときは縮み分を考慮し、

打ち込みの力加減と織る長さを調整しましょう。

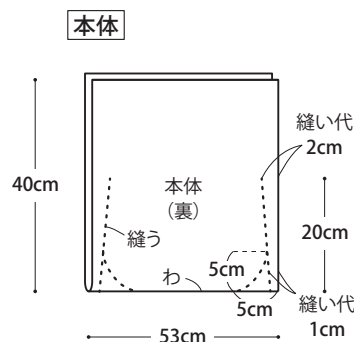
※縮み分は糸の種類や模様によって変わります。

- 3** 本体の織端に接着テープを貼り、ジグザグミシンをかけてフサを短く切る。

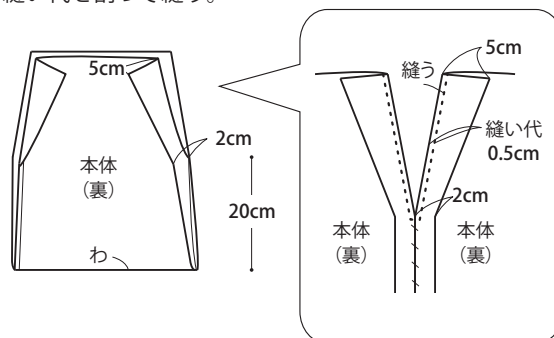


- #### ■4仕立てる。

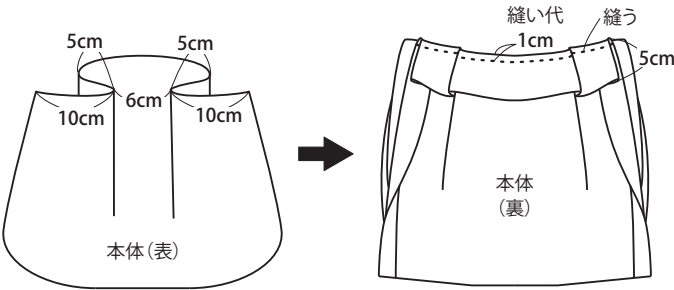
- ①本体の両脇を中表に縫う。



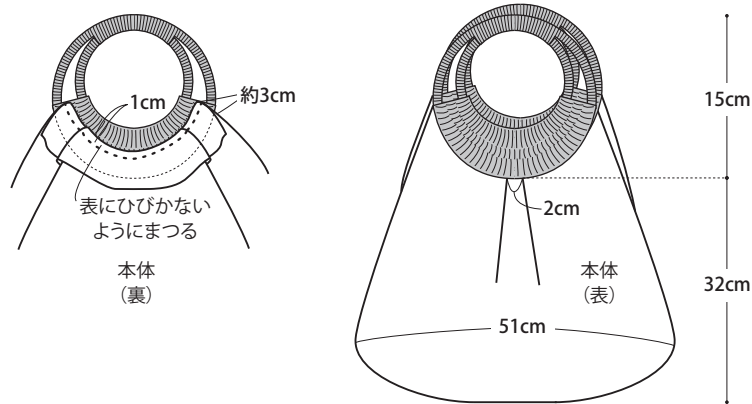
- ②縫い代を割って縫う。



③タックをとり、内側に5cm折り返して縫う。



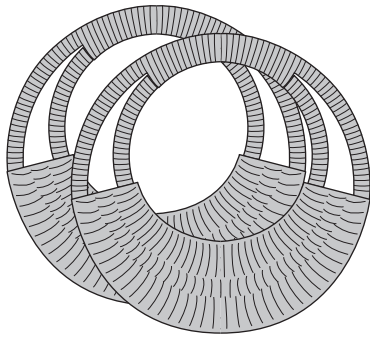
④本体にタックを寄せながら、表側にひびかないように持ち手にまつりつける。



AMX-55

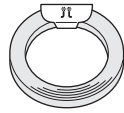
籐風丸持ち手

(2019/5/5)



デザイン／荒関まゆみ

●材料



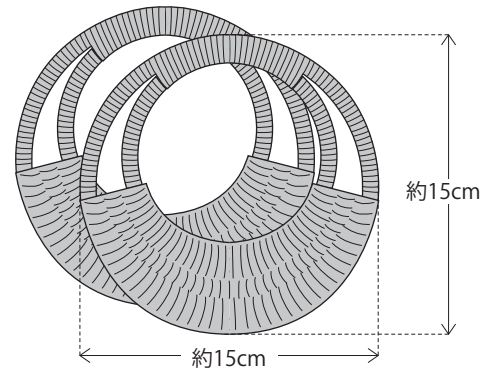
ハナナカエコクラフト
(5m巻)

水色 (No.11) 2巻

●エコクラフトのカット数(下図の裁ち方図参照)

①大の輪	水色	／8本どり	222cm×2本
②小の輪	水色	／8本どり	152cm×2本
③中心ひも	水色	／2本どり	22cm×2本
④外巻ひも	水色	／2本どり	400cm×2本
⑤内巻ひも長	水色	／2本どり	500cm×2本
⑥内巻ひも短	水色	／2本どり	196cm×2本

●でき上がり寸法



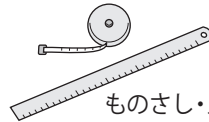
●用意するもの



ハナナカ手芸用
クラフトボンド
(H464-003)



ハナナカ
クラフトハサミ
(H420-001)



ものさし・メジャー

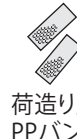


目打ち ひもを編み目に
差し込んだり、
詰めたりする
のに使います



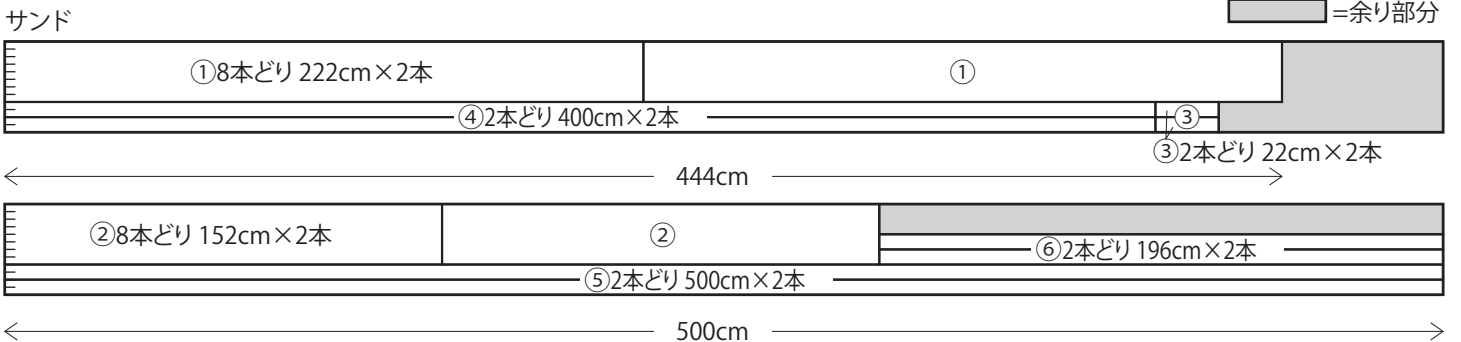
洗たくバサミ
(約5個)

ボンドで固定
したり、編みひも
を押さえたりする
のに使います

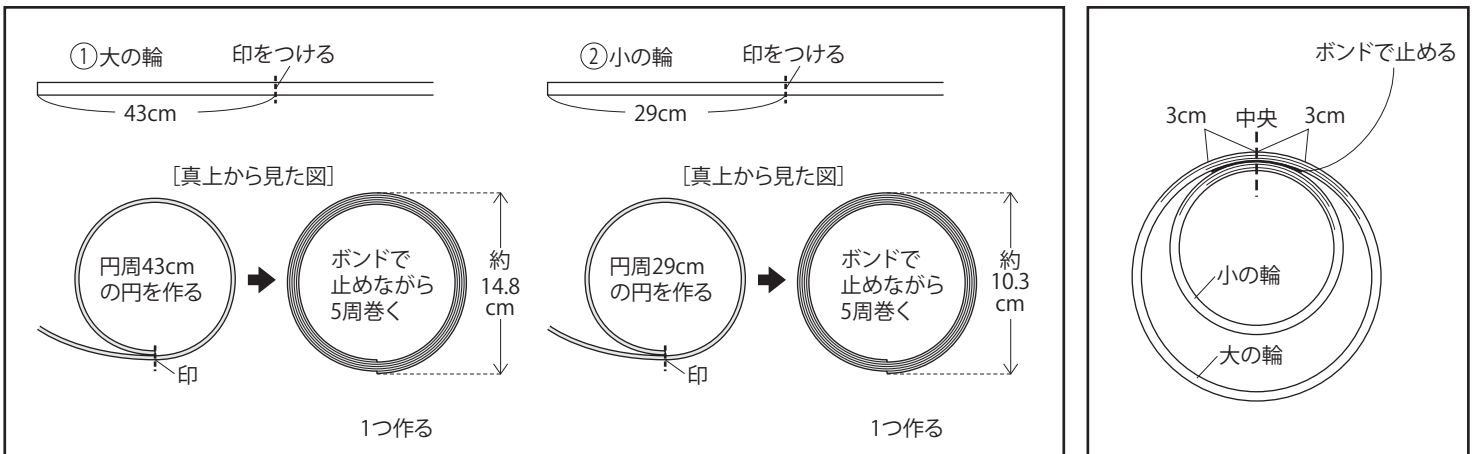


荷造り用
PPバンド

●エコクラフトの裁ち方(エコクラフトの割き方参照)

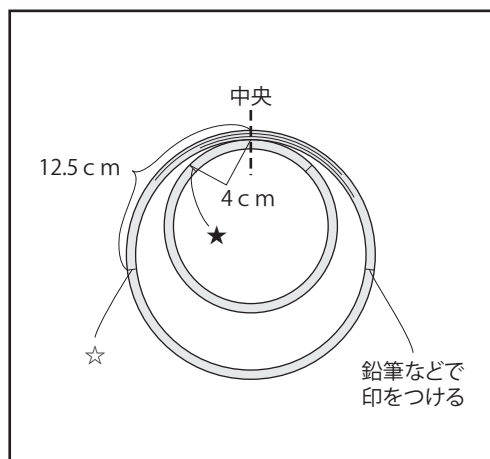


●作り方●(持ち手1つ分)

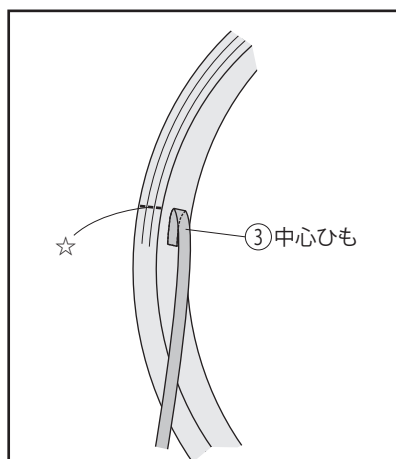


1 大の輪・小の輪を各1つ作ります。大の輪①に印をつけて円周43cmの輪を作り、ボンドで止めながら合計5周巻きます。小の輪②に印をつけて円周29cmの輪を作り、ボンドで止めながら合計5周巻きます。

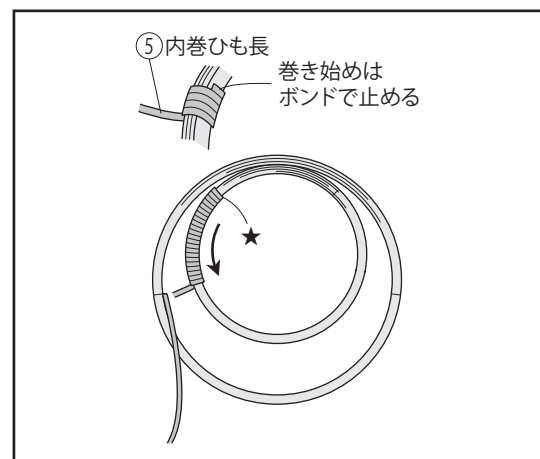
2 大の輪の内側上部に小の輪を中央から左右に3cmずつボンドで止めます。



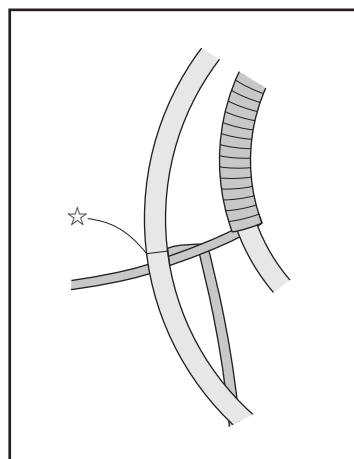
3 実物大の上に重ねて、大の輪、小の輪の指定位置に印をつけます。



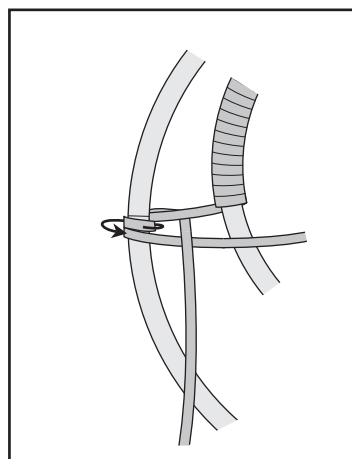
4 大の輪☆印の内側に中心ひも③の端を1 cm 折り返し、ボンドで止めます。



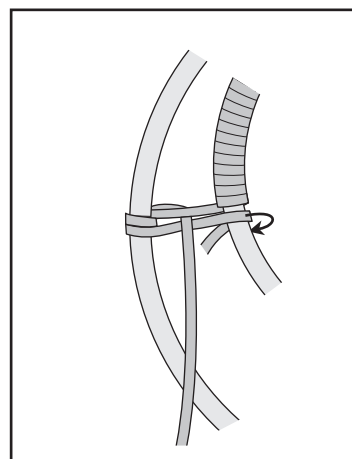
5 ☆印に内巻ひも長⑤をボンドで止めて、20回巻きます。



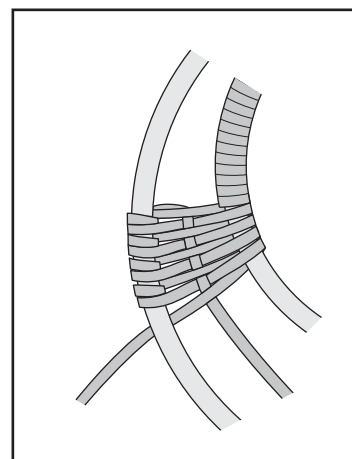
6 中心ひもの上を通し、大の輪の下を通します。実物大の上に重ねて、強く引きすぎないように注意し



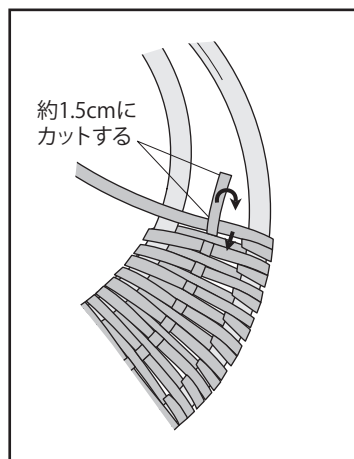
7 大の輪にひと巻して、中心ひもの下を通します。



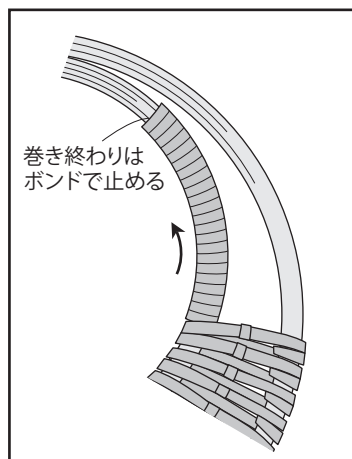
8 小の輪に上から巻きつけます。



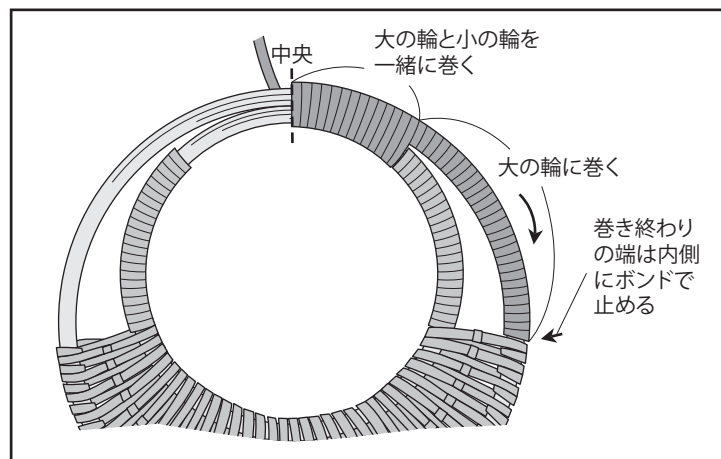
9 ⑥⑦⑧を繰り返します。途中で編みひもがなくなったら、内巻きひも短⑥をつなぎながら巻きます。



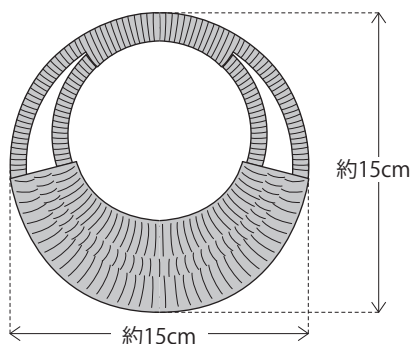
10 反対の☆印のところまで巻きます。中心ひも③を裏側に折り込み編み目に通し、端をボンドで止めます。※通しにくい時は、目打ちですき間を作ってから差し込みます。



11 続けて小の輪に20回巻きます。端をボンドで止めます。

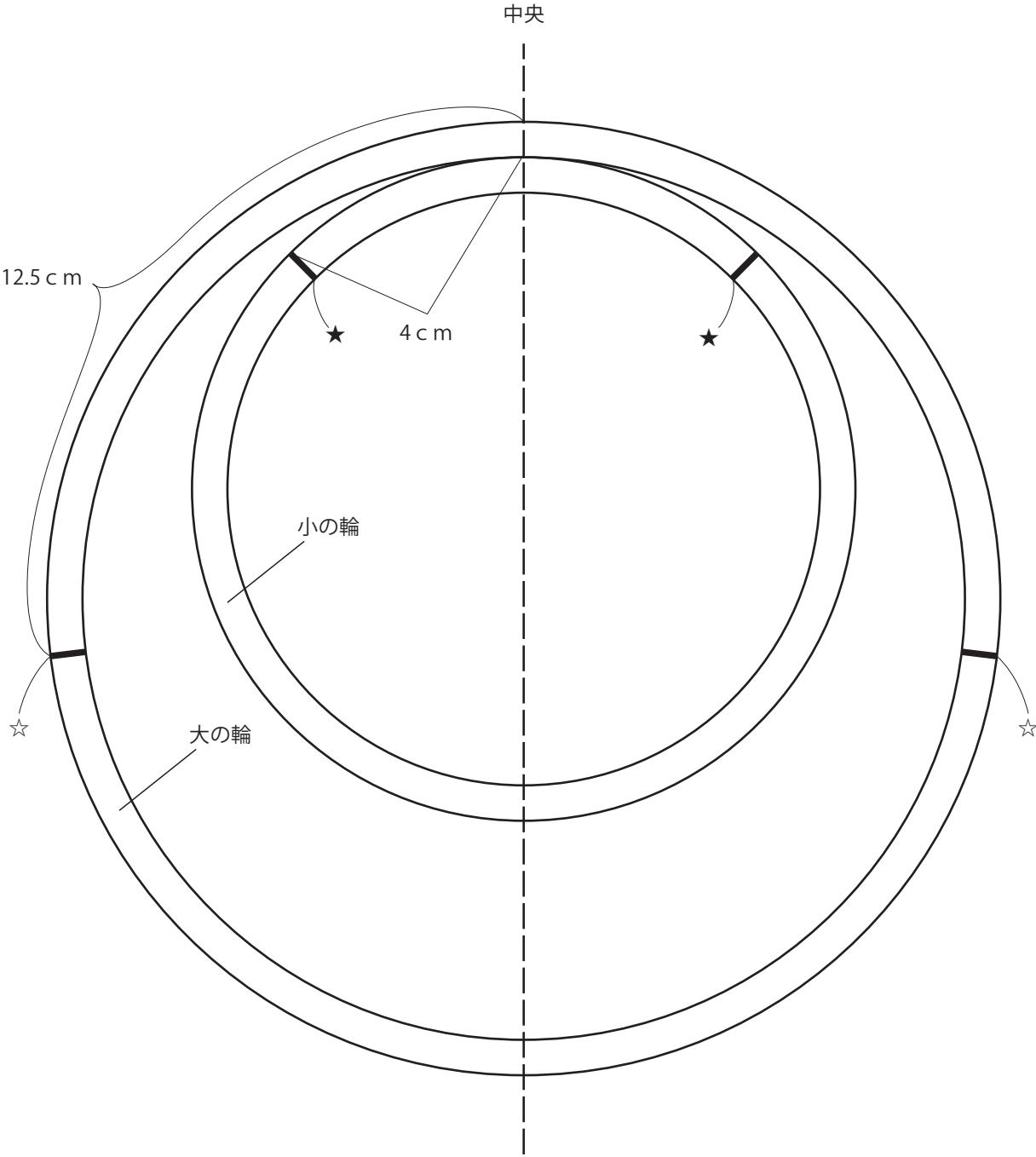


12 外巻ひも④の半分の位置を中央に合わせ、半分は洗たくバサミで止めておき、もう半分は☆印まで巻いたら余分をカットして端をボンドで止めます。反対側も同様に作業します。同じものをもう一つ作ります。



実物大

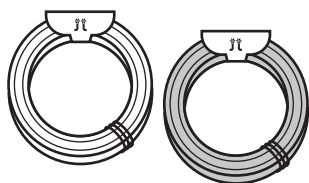
編んでいる途中も何度か
重ねて形を確認しながら編む



エコクラフトを作り始める前に・・・

<材料と道具>

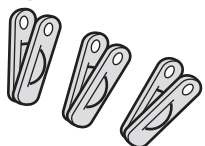
①エコクラフト



②ボンド



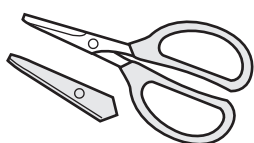
③洗たくバサミ



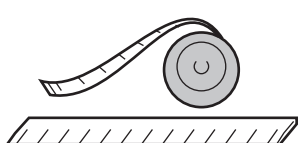
④PPバンド



⑤ハサミ



⑥ものさし又はメジャー



<エコクラフトの裁ち方>

エコクラフトテープをカットする時は本数、長さ確かめ、裁ち方図のとおりカットしてください。(エコクラフトは少し余分に入っていますが、長めにカットしていくと足りなくなります。)

エコクラフト専用
H204-577

透明アクリルニス (スプレータイプ)



- エコクラフトの仕上げ用「スプレータイプ」です。
- シュッと吹きつけるだけでムラなく簡単に仕上がります。
- 乾けば、艶やかな光沢を放ち、作品の表面を保護し、耐水性も増します。
- 200ml入り
- 色/無色・艶出し

エコクラフト専用
H204-571

カラーニス (スプレータイプ)



- エコクラフト専用の仕上げ用カラーニスです。
- シュッと吹きつけ着色のカンタンスプレー式。
- ベージュ色は乾けば柿波調のカラーに。
- 艶やかな光沢、より丈夫に、耐水性もアップ。
- 200ml入り
- 色/柿波調



エコクラフト仕上げ用
H204-548
水性アクリルニス



- エコクラフトの仕上げ用ニスです。
- 乾けば、艶やかな光沢を持ち、作品の表面を保護し、耐水性も増します。
- 100ml入り
- 色/無色・艶出し

H464-003
手芸用クラフトボンド

木・紙・布・革の接着に



- 速乾
- 乾くと透明
- 高性能接着力
- 水性タイプ
- 安全で環境にやさしい

100g入



H420-001 クラフトハサミ

- 人間工学から生まれた柔らかい柄で手がかれにくい。
- 刃先にハードクロームメッキを施し、錆びにくく切れ味抜群。
- 安全、便利な専用キャップつき。

<エコクラフトのつなぎ方>

編みひもが何本かに分かれている場合、編みひもどうしをボンドで貼り合わせつつなぎます。編み終わり位置の縦ひもの裏側で目立たないようにつなぎます。

ボンドで貼り合わせる

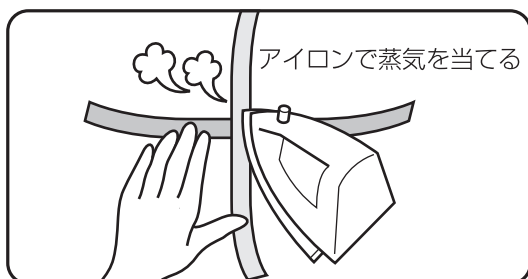


新しい編みひも

<エコクラフトはアイロンで再生OK!>

エコクラフトはボンドで貼りつけて失敗しても、はがしてやりかえることができます。やりかえるときは、アイロンの蒸気を当てるだけで、ボンドが溶けて簡単にはがれて、やりかえられます。

折り目線を消したいときや、編んだしわを伸ばしたいときも、蒸気アイロンをかけると元に戻ります。また、水をつけて接着することができますが、重量のかかる作品は必ずボンドで固定して下さい。



アイロンで蒸気を当てる

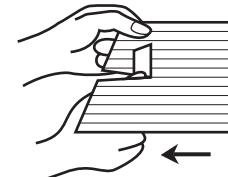
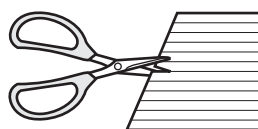
<エコクラフトの割き方>

エコクラフトは、こよりひも12本を貼り合わせたテープです。割くことができますので、太さを自由に調整できます。

割き方はハサミで約5cmカットして、PPバンドを入れて引くと、容易に割けていきます。

①ハサミで約5cmカットします。

②カットした部分にPPバンドを入れてエコクラフトを引っ張るようにして割きます。



<カットしたエコクラフトの整理>

裁ち方図の順にエコクラフトをカットするとき、荷札やマスキングテープを利用してそれぞれをまとめておくと便利です。

